



たかはるちょう

第43号

平成25年 3月定例会 (第2回)
平成25年 5月臨時会 (第3回)

議会だより



高原駅開業100周年 記念式典・記念イベント



- 副議長就任挨拶、議会新構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2
- 一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3～P 5
- 総括質疑・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6～P 7
- 審議結果報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 8～P 9
- 高原町観光協会紹介、編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 10



the most beautiful
villages
in japan

■発行／高原町議会

■編集／議会だより編集委員会

☎889-4492 宮崎県西諸県郡高原町大字西麓899番地 ☎(0984)42-2111

■発行日 平成25年 6月 3日

副議長 就任挨拶



入佐 廣 登

新緑の候、皆様方におかれましては益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。

昨年は全国和牛能力共進会におきまして宮崎県が二回連続日本一となり、宮崎県として、畜産の町高原町としても大きな励みとなり大変感動を受けました。国におきましては、昨年末に政権交代となり大変期待をしている所ではありますが、毎日のように新聞、テレビ等でTPP問題が取り上げられております。政府はTPP参加に向けて進められています。現在のままでの参加には説明不足でとても不安であり、本当に日本を、農業を守っていきけるのが懸念されます。今後の政府の動向を注視して行きたいと思っております。

高原町におきましては、地域のことは地域に住む住民が決める地域主権を目標にして、議会としまして二元代表制の下、町当局と常に緊張ある関係を保ちながら融和と公正を持ち、町民の皆さまにとりまして、豊かで住みやすい町づくりに取り組んで参りたいと思っております。

今後とも皆様方のご指導と御鞭撻を宜しくお願い致しまして、就任の挨拶と致します。

高原町の議会新構成

●総務経済常任委員会

委員長 北 迫 泉
副委員長 松 元 春
委員 中 村 昇
委員 清水 公 雄
委員 前原 淳 一

●文教厚生常任委員会

委員長 宮 司 勲
副委員長 温 谷 文 雄
委員 鹿 嶋 重 明
委員 森 山 勇
委員 入 佐 廣 登

●一般会計予算・決算常任委員会

委員長 入 佐 廣 登
副委員長 松 元 春
委員 鹿 嶋 重 明
委員 森 山 勇
委員 中 村 昇
委員 清水 公 雄
委員 北 迫 泉
委員 宮 司 勲
委員 温 谷 文 雄
委員 前原 淳 一

●議会運営委員会

委員長 入 佐 廣 登
副委員長 松 元 春
委員 北 迫 泉
委員 宮 司 勲
委員 温 谷 文 雄

●議会だより編集委員会

委員長 中 村 昇
副委員長 森 山 勇
委員 松 元 春
委員 入 佐 廣 登

●西諸広域行政事務組合

議長 中 村 昇
議員 松 元 春

●西諸広域行政事務組合監査委員

委員 温 谷 文 雄

●小林高原衛生事業事務組合

議長 森 山 勇
議員 松 元 春
議員 温 谷 文 雄

●霧島美化センター事務組合

議長 鹿 嶋 重 明
議員 北 迫 泉
議員 入 佐 廣 登

●都市計画審議会委員

委員 中 村 昇
委員 清水 公 雄
委員 北 迫 泉
委員 松 元 春

●高原町監査委員

委員 清水 公 雄

一般質問



森山 勇議員

(問) 政教分離とは何か。

(答) 日本国憲法第20条第1項には、「信教の自由は、何人に対してもこれを保障する。いかなる宗教団体も、国から特権を受け、または政治上の権力を行使してはならない」とし、また同第3項で、「国およびその機関は、宗教教育その他いかなる宗教的活動もしてはならない」と規定。さらに、第89条には「公金その他の公の財産は、宗教上の組織もしくは団体の使用、便益若しくは維持のため、これを支出し、又はその利用に供してはならない」と規定

されている。これは、あらゆる宗教に対し特権の付与を禁止し、宗教団体の政治的権力の行使を禁止し、国の宗教活動を禁止することで強権的な宗教の押し付けを排除し、何人も自己の良心に従い、自己の信ずる宗教を選択できるなど国と宗教との関係を明確にしたものであり、これが政教分離の根本的な考えと理解している。

(問) 町長をはじめ職員など公務員の神事への関与は政教分離に抵触するかと考えているか。

(答) 社家など関係者の参集の下で行われる町内の狭野・霧島東・霞神社などでの例大祭への参列は、公金での玉串料の支出は別にして、公の身分として出来るものと考えており、例年、高原町長として出来る限りの段階で参列をしている。

政教分離に抵触しているとは考えていない。



狭野神社

(問) 狭野神社の神舞は何を目的とした神事なのか。

(答) 狭野神楽の起源は戦国時代には舞われていたと考える。そして修験僧の霊山とされていた霧島山への畏敬の念が神の宿る山をあげる霧島山信仰とも相まって、また五穀豊穡の願い

や祈りを取り入れた数百年に及ぶ連綿とした歴史を経た狭野神社の年中行事として社家・氏子を中心に伝承され現在に至っていると考えられている。



中村 昇議員

○生活保護基準の引き下げについて

(問) 政府は、生活扶助の基準額を8月から段階的にかつてない大幅削減を計画している。受給世帯の96%で基準額が減る。生活保護の受給者は食費や衣服代、冷暖房代など切り詰めて生活している。これ以上基準を下げることは、全ての国民に健康で文化的な最低限度の生活を保障した憲法25条に反する。

生活保護基準は就学援助、最低賃金、保育料や医療、介護保険料の減免制度の基準や給付額に連動するため、負担が増えたり制度が利用できなくなる人が続出するがどう考えるのか。

(答) 現段階で国が詳細な基準を示していないため、今後、動向を勘案し対応する。

○食物アレルギー事故防止について



(問) 食物アレルギーで給食後に、小学5年生の児童が死亡する事故が昨年12月に東京都であった。本町ではどの位食物アレルギーの児童生徒がいるのか、またどのような安全管理体制がとられているか。

(答) 小学校で10名、中学校で6名の食物アレルギーの児童生徒がいる。安全対



▲学校給食の様子

策として各学校で、入学説明会時に児童の保健調査表に「食物アレルギー児童に関する情報」を記入いただいている。その後、アレルギー情報があれば学校担任、養護教諭が保護者から聞き取りをし、校長、栄養職員やその他の教諭と全体会議を持ち、情報の共有化を図っている。

○学力テスト結果の公表について

(問) 序列化につながる公表は小・中・中連携教育に悪影響を及ぼす。どう対処されるのか。

(答) 学校の序列化が懸念されるとする文科省の考え方を尊重し、公表は行わない。

○防災対策について

(問) 皇子開拓に防火水槽が必要では。

(答) 用地の確保をはかり、整備を検討する。

土木行政



入佐廣登議員

○町道整備について

(問) 町道井手上入佐線の交差点から赤垣踏切までの

進捗状況と今後の計画は。

(答) 全体計画事業費約3億6千300万円。平成24年度までの事業費約3億4千300万円で約94%の進捗となる。

今後の計画は、赤垣踏切から宮崎自動車道鳩取山橋区間約800mを平成25年度から国の認可手続きを行い改良工事を行う計画である。



▲広原駅付近の道路改良工事

(問) 町道など側溝が埋まり、道幅も狭く農繁期時大変支障を来している箇所がある。整備は出来ないか。

(答) 堆積土砂の量やスリップの危険性など十分検討を行い、対応を図る。

(問) 宮崎自動車道鳩取山橋の道幅が狭く、今後拡張工事が進むと大型車など通行量が多くなると予想されるが、歩道橋設置が必要では。

(答) 県、及び関係する高速自動車道管理者等との協議を行い実施可能か検討していく。

○町総合運動公園の利用状況と管理状況について

(問) サッカー場の一部に狭く入り込んでいる箇所がある。広くすることで公式戦の試合が出来るのでは。

(答) 今後、Jリーグの活用が図られる機会があれば別であるが、現在のところ

予定はない。

(問) 運動公園の利用者に、観光名所や弁当等紹介するチラシを配ってみては。

(答) 会場利用の申込みがあった時、弁当等の紹介はしている。今後、極力そういう配慮を行う。

(問) グラウンドの利用料金その他市町村との比較は。

(答) サッカー広場面を終日利用は町外一般者2万3千円。多目的芝広場一面8,100円となっている。料金の設定については、近隣の施設料金を参考にして



温谷文雄議員

○学校等給食における食物アレルギー事故防止について

(問) 昨年、東京都調布市

での学校給食で死亡に至る食物アレルギー事故が発生した。お代わりによる僅か1グラムのチーズ入りチヂミを食べてである。担当が、その子供が食べられない除去食一覧表を見落とした為である。そうしたヒューマンエラー（人的ミス）を無くすため代替え食による町の取り組みは。

(答) 高原町ではお代わりはさせない、しないになっている。また代替え食は栄養のバランスから考えていない。現行体制の強化を図り、二重、三重のチェックをして人的ミスの防止を図っている。

○創作神楽で観光客の増加を

(問) 高原町には、国の重要無形民俗文化財指定の狭野神楽・祓川神楽があるが、町内外からの酒席で神楽の舞を観たくても容易に観れ

ないと思う。神楽愛好家等で高原の神楽を模倣して創作神楽を舞い観光客の増加を図ったら。

(答) 愛好家が高原の神楽の雰囲気をもし出す、創作神楽に異論はない。



◀▲祓川神楽の様子



宮司 勤議員

○第5次の高原町総合計画について

(問) 総合計画期間10ヶ年における財政収支の見通しはどうか。

(答) 今後、財政的な規模としては歳入歳出とも10億円程度縮小するものと考えている。

(問) 10億円を越えていた起債の償還額もピークが過ぎ、25年度は8億円台となり、今後年毎に減少していく。現在も4億円程度の借り入れがされているが、借り入れ額と償還額が同程度になるのは何年頃になるか。

(答) 財政の見通しとして毎年4億円程度の借り入れを想定しており、同額となるのは平成31年度で返済額

は4億2千万円となる見込みである。

(問) 起債の残高はどの位になるか。

(答) 31年末で43億円となる。

(問) 町長は3期目の立候補を決意されている。今迄の財政再建の政策から施策主導の政策に重きをおいていく考えはないか。

(答) 今後、起債の償還額が減少していくことを踏まえ政策として考えていた定住化促進対策と課題として残っている総合運動公園の

諸施設の整備と合わせた、健康維持対策、観光施設の整備等について、積極的な財政出動を強化する。

○人口増を目的とした定住環境の整備について

(問) 本町の人口は一年間に約150人減少し、県内郡部の減少率よりも高く急速な人口減少が続いている。現人口の維持そのものが困難な中で町長が明言されている人口1万人復活のまちづくりには相当思い切った施策と財源とが必要と思われるが。

(答) 定住対策として、各学校区における住宅用地の確保と公共用地の活用、定住に関する各種の支援等を行っていききたい。予算的には今後、年次的に2千万円程度を確保したい。

(問) 1万人の目標年次は、**(答)** 10年後そうなるよう努力していきたい。



▲総合運動公園（多目的芝生広場）

総括質疑

議案第13号

○平成24年度高原町一般会計補正予算(第7号)

中村 昇議員

(問) 農業振興費の集落農用地利用集積促進事業と就農給付金事業は、昨年12月に1,200万補正して、今回減額の理由は。

(答) 集落農用地利用集積促進事業の450万円の減額は、経営転換協力金にかかわる対象者がなかった。就農給付事業の675万円の減額は、今回6名の方が青年給付金に該当されて、事業費が525万円になった。

議案第19号

○職員定数条例の一部を改正する条例

宮司 勲議員

(問) 条例改正の職員の定数の基本的な考え方は。

(答) 集中改革プランや、高原町定員管理計画等で現在の職員となっている。

議案第21号

○高原町手数料条例の一部を改正する条例

宮司 勲議員

(問) 『火薬類取締法第25条第1項の規定に基づく煙火の消費の許可の申請手数料』の追加に伴い、許可の方法は。

(答) 消防、警察等関係機関合同で現地調査を行い許可の手順になる。

議案第24号

○肥育素牛購入資金貸付基金条例の一部を改正する条例

温谷文雄議員

(問) 今回の条例改正で、肥育素牛購入は今までは町内産となっていたのに西諸地区連に加入する小

林市、えびの市に拡がり高原町の素牛生産農家は不利益になるのではないか。

(答) 肥育農家からの要望もあり、肥育農家の経営安定のための制度である。

また小林市は西諸地区連に加入する自治体に購入

枠を広げている。

議案第26号

○指定管理者の指定について

宮司 勲議員

(問) 観光協会の1名の職員が退職ですが、町の職員を派遣する考えはないか。

(答) 地域おこし協力隊の制度を活用して2名を派遣する。

議案第29号

○平成25年度一般会計予算

北迫 泉議員

(問) 各課で出来るサービ

スを出し合い、周辺の自治体がやってない、若い人にも魅力のある施策を作って、人口増を計る事が必要と思うが。

(答) 人口を1万人に復活させる事は、非常に厳しいハードルであると考え

る中で、子育てがしやすい文教の町を進め、そして医療対策を講じる事が、ソフト面で重要と考える。高原町が住みやすい、ま

た人情味あふれる形の中で、各課がどのような優しい町づくり、人が魅力ある町と感じてくれる対応を取り、今後全町的に、さらに取り組みを定住対策の中で考えていく。

温谷文雄議員

(問) 自殺防止対策についての予算と、お茶のみ会との関連は。

(答) 111万1千円をNPO法人ハートムに委託。地域で引きこもる方に積極的に参加して貰っている。

森山 勇議員

(問) 日本は成熟経済の時代にいったと思っ

ている。若い人たちが国や地域に誇りを持ちながら、次の時代を担う人材を育てていくための教育がなされるように、現在が問

われている重要な時期に

来ているとも考えている。(問) 若者は農業が儲からないことは重々承知して

いて、金銭よりも暮らしやすい環境や日々の充実感、誇りを持って仕事が出来ること

に人生の価値観を見出しているという。

このような今の若者が考

えている要素など取り込まないと若い人たちを呼び寄せることは出来ないのではないかと思

うが町長の考えは。(答) 高原町として、そういう方々に共鳴共感してもら

えるようなPRをして、この高原町の景観と環境を見てもらって、そして住んで頂けるように、また農業という受容力のある高原町を存分にPRしながら売り出していきたい。

中村 昇議員

(問) 政府は地方公務員の賃金を13年度に限り、7

月から平均7・8%削減することを前提に、地方交付税を減額してきてお

る。その財源を公務員の人件費を削ってまかなえ

任を地方に押し付けるもので、断じて行うべきではないと考えるが町長の考えは。

(答) 職員給与を含めた削減を国が打ち出したことに、非常に憤りを感じており、宮崎県町村会を通じて断固として反対の旨を決議し全国町村会にあげた。

(問) 地域公共交通について町民アンケートをとられたが、その状況は。

(答) 平成24年10月に全ての世帯に調査票を配布し実施した。回収は925票、28%の回収率。今後はアンケートの結果を詳細に分析をし、将来的に本町の公共交通をどのようにしていくか検討する。

(問) 皇子開拓の避難路の確保・整備の今後の計画は。

(答) 平成25年度から社会資本整備総合交付金事業を活用し、橋梁の基本設計、ボーリング調査等行っていく。

宮司 勸議員

(問) 空き家調査の実態は。

(答) 区長を通して募集した報告は32件。

(問) 都市計画総務費の中に景観計画基本設計策定の委託料790万円は。

(答) 景観の形成委員会の委員10人、15人を選考し基本計画を作成する。

清水公雄議員

(問) 1万人復活の為に住宅確保は。

(答) 住宅用地について調査委託し適地を探し計画する。

(問) 町総合運動公園の基本構想を作成する事業とは。

(答) 総合体育館、雨天練習場、クロスカントリー施設等を基本計画に200万円計上している。

(問) 集落営農の法人化に向けての指導は。

(答) 町の関係機関が連携して取り組む。

つながる施策を要望。若しくは国・県の財政支援を受けて定住化に向けた活用策を図る。

(問) 農水産物生産構造強化推進事業とは。

(答) 人・農地プランを作成した地域の中心経営体が導入する農業機械に対し30%を支援する事業。

(問) 他の自治体では、国保便り、保健センター便り等が発行されている。本町でも国保独自発行が必要の考えは。

(答) 現在、町報の中で「こほのコミニ」というのを掲載している。今後、別冊で作成するか検討する。

中村 昇議員

(問) 介護報酬の引き下げによる収益減やヘルパーの影響は。

(答) 包括支援センターで実施したアンケート調査では、生活援助のサービス低下はない。また、報酬の引き下げによるヘルパーの収入減は聞かれない。

(問) 保険料を1年半以上滞納するとペナルティーが課せられるが、ペナルティーによる影響はないのか。

(答) 現在、誓約書をとり、分納で納めていただいているため、ペナルティーによる発生はない。

(問) 2年以上滞納がある場合、利用者負担が3割になる。利用者の中には、負担が大きくなり、利用しなかった例もある。影響は出ているのではないか。

(答) 現在、窓口等に保険料の滞納があつて、サービスが受けられないという受付はされていない。影響は出ていると考える。

ている。

議案第36号

○平成25年度高原町病院事業会計予算

宮司 勸議員

(問) 21年度から5ヶ年の改革プランの中で24年度を終えて、どう評価しているのか。

(答) 平成24年度決算においても、改革プランどおりの数値に近い線、だと現時点では分析している。

(問) 病院の今後の運営の方向は。

(答) 現行の外科・内科に加え、整形外科の医師を確保できれば、業務運営上も非常に支障なく行けると判断している。

(問) 後発医薬品ジェネリックへの転化率は。

(答) 問題点はほとんどない。薬価や使用頻度の高い薬品については、節減効果を図るべく、対策を練っている。



審議結果報告

平成25年 第2回定例会議議決内容

平成25年 3月 7日木曜日

議案番号	件名	議決結果	①松元茂春	②鹿嶋重明	③温谷文雄	④森山勇	⑤宮司勲	⑥入佐廣登	⑦北迫泉	⑧中村昇	⑨清水公雄	⑩前原淳一
発議第1号	環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）交渉への参加に反対する意見書（案）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
同意第1号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
同意第2号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第1号	西諸地域介護認定審査会共同設置規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第2号	高原町町道の構造の技術的基準を定める条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第3号	高原町町道の道路標識の寸法を定める条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第4号	高原町移動等円滑化のために必要な町道の構造に関する基準を定める条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第5号	高原町準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第6号	高原町都市公園、公園施設及び特定公園施設等の設置の基準を定める条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第7号	高原町都市下水路条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第12号	高原町公共用地取得事業特別会計条例を廃止する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

平成25年 第2回定例会議議決内容

平成25年 3月15日金曜日

議案番号	件名	議決結果	①松元茂春	②鹿嶋重明	③温谷文雄	④森山勇	⑤宮司勲	⑥入佐廣登	⑦北迫泉	⑧中村昇	⑨清水公雄	⑩前原淳一
議案第8号	高原町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第9号	高原町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第10号	高原町指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関する基準を定める条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第11号	高原町新型インフルエンザ等対策本部条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第13号	平成24年度高原町一般会計補正予算（第7号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—
議案第14号	平成24年度高原町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—
議案第15号	平成24年度高原町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第16号	平成24年度高原町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第17号	平成24年度高原町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第18号	平成24年度高原町病院事業会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第38号	損害賠償の額を定めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第41号	平成24年度高原町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第42号	平成24年度高原町病院事業会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

「○」：賛成、「●」：反対、「除」：除斥、「棄」：棄権、「欠」：欠席

平成25年 第2回定例会議議決内容

平成25年 3月26日 火曜日

議案番号	件名	議決結果	①松元茂春	②鹿嶋重明	③温谷文雄	④森山勇	⑤宮司勳	⑥入佐廣登	⑦北迫泉	⑧中村昇	⑨清水公雄	⑩前原淳一
議案第19号	職員定数条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第20号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第21号	高原町手数料条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第22号	高原町重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第23号	家畜導入資金貸付基金条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第24号	肥育素牛購入資金貸付基金条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第25号	国民健康保険高原病院使用料、手数料条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第26号	指定管理者の指定について(高原町皇子原公園)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第27号	指定管理者の指定について(高原町林業野外活動施設)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第28号	指定管理者の指定について(高原町御池キャンプ村)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第29号	平成25年度高原町一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	—
議案第30号	平成25年度高原町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第31号	平成25年度高原町農業集落排水事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第32号	平成25年度高原町国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—
議案第33号	平成25年度高原町介護保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—
議案第34号	平成25年度高原町後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—
議案第35号	平成25年度高原町水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第36号	平成25年度高原町病院事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第37号	平成25年度高原町工業用水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第39号	平成24年度高原町一般会計補正予算(第8号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第40号	平成24年度高原町農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
請願第1号	年金2.5%の削減中止を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発議第2号	年金2.5%削減中止を求める意見書(案)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発議第3号	高原町議会委員会条例の一部を改正する条例(案)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発議第4号	高原町議会会議規則の一部を改正する規則(案)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	所管事務調査事項について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

平成25年 第3回臨時会議議決内容

平成25年 5月 9日 木曜日

議案番号	件名	議決結果	①松元茂春	②鹿嶋重明	③温谷文雄	④森山勇	⑤宮司勳	⑥入佐廣登	⑦北迫泉	⑧中村昇	⑨清水公雄	⑩前原淳一
報告第1号	平成25年度高原町土地開発公社予算について	報告	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
承認第2号	専決処分について 高原町企業立地促進のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
承認第3号	専決処分について 平成24年度高原町介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
承認第4号	専決処分について 平成24年度高原町一般会計補正予算(第9号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
同意第3号	監査委員の選任について(識見)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
同意第4号	監査委員の選任について(議員)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
議案第43号	平成25年度高原町一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	副議長辞職願	許可	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
	副議長の選挙(指名推選)	当選	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

「○」：賛成、「●」：反対、「除」：除斥、「棄」：棄権、「欠」：欠席

高原町観光協会

〒889-4412 宮崎県西諸県郡高原町大字西麓473-6 TEL 0984-42-4560
FAX 0984-42-5655

高原町観光協会は、観光事業に関係ある各種団体及び関係機関並びに本会の趣旨に賛同される方々によって昭和37年4月に発足しています。

現在は、指定管理者制度のもと会長を中心に9名のスタッフが、高原町より受託している高原町林業野外活動施設及び皇子原公園並びに御池キャンプ村の管理運営を行いながら、霧島連山の麓に位置する「神武の里たかはる」の豊富な自然と伝説を生かした観光地づくりに取り組んでいます。

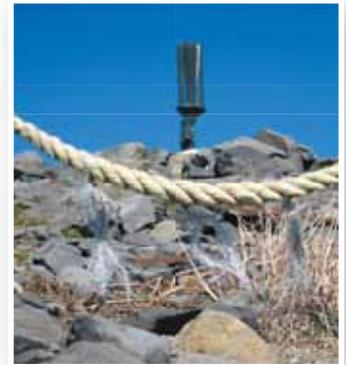
日本一美しい町 高原町
日本一暮らしやすい町 高原町
日本一人情味ある町 高原町

(高原町観光協会の標語です)

※ここで、高原町観光協会が実施している年間を通した主な事業を紹介すると、

【登山関係】

- 高千穂峰山開き登山（4月14日実施済）
- 矢岳ミカエリソウ観賞登山会（9月29日実施予定）
- 天孫降臨の地高千穂峰登山会（11月17日実施予定）



【まつり関係】

- 皇子原公園「ヒガンバナまつり」および「どてかぼちゃコンテスト」（9月23日実施予定）
- 皇子原公園「花まつり」（平成26年3月23日実施予定）



【その他】

- 御池の釣り大会（8月中旬実施予定）
- 御池冬の探鳥会（平成26年1月26日実施予定）

等を計画しております。

編集後記

韓国側の「歴史認識」

2月に就任した韓国の朴槿恵大統領が米国オバマ大統領との会談で「北朝鮮の対応は日米韓3カ国の協議が重要だ」としたオバマ氏に対し、朴氏は「北東アジアの平和のためには日本が正しい歴史認識を持たなければならない」と異例の反論で返した。とメディアが5月7日に報じた。

韓国の「反日教育」は「とにかく日本人は韓国人に対してひどいことをした」ということを学校教育で徹底的に教えただけでなく、マスメディアも一貫してそのような報道を行った。つまり朴槿恵大統領とはいえ、一般の韓国人の受けた反日教育のレベルしかもっておらず、少なくとも竹島は100%韓国のものだと思っている。歴史認識でおかしいのは日本で、ゆえに日本が正しく直すべきだという認識しかない。そこをしっかりと抑えておかないと、日本はまた日韓関係で失望する。と呉善花（拓殖大学教授）が言う。